

第23回「多チャンネル放送市場・事業者予測調査」結果発表 現実的な見方が各方面へ広まりつつある

多チャンネル放送研究所（所長：音好宏）では、第23回目となる「多チャンネル放送市場・事業者予測調査」を実施しました。本調査は、同研究所が（一社）衛星放送協会の正会員社の各チャンネルを対象に、多チャンネル放送市場の現状と見通しについて年2回実施しているものです。具体的には、『現状』、『1年後』、『2年後』という3つの時点について、会員各社が多チャンネル放送市場の動向をどのように捉えているかを調べています。今回の調査では、調査時点が2018年11月で、『1年後』は2019年後半、『2年後』は2020年後半になります。

前回調査同様、加入者や視聴料の見通しについては、厳しい傾向が続くとの見方が主流ですが、前回の調査結果と異なり、楽観的な見方や逆に悲観的な見方について、過度なものが少なくなりました。一方で各事業者において新しい取り組みの事業化が進み、それらに対する現実的な見方が広まりつつあることが推察される結果となりました。

多チャンネル放送研究所では、今後も定期的に本調査を実施する予定です。これらが会員各社における多チャンネル放送市場への経営戦略に資することが出来れば幸いです。

なお、調査結果については当研究所ホームページでも掲載しているので参照下さい。

→ <http://www.eiseihoso.org/labo/release.html>

調査結果の概要

1. 自社チャンネルの加入者動向については、厳しい見方を強める

自社チャンネルの全体的な加入者動向について、『現状』、『1年後』、『2年後』いずれも「減少」がもっとも多く、52.3%→48.8%→58.1%と『1年後』はやや回復するが拡大傾向にある。「増加」は『現状』の19.8%がもっと多く、『1年後』12.8%、『2年後』15.1%と徐々に減少の見方となった。全体としては悲観的な見通しが半数以上を占める結果となっている。

前回調査（2018年6月）と比較して、『現状』については「横ばい」が10.1ポイント縮小、その分「大幅増」「増加」が計3.8ポイント、「減少」「大幅減」が計6.4ポイント拡大し二通りの結果となった。『1年後』は「横ばい」が拡大し、「大幅増」「増加」が計4.4ポイント縮小、「大幅減」「減少」が0.6ポイント拡大。『2年後』についても「大幅増」「増加」が4.4ポイント縮小、「大幅減」「減少」が4.1ポイント拡大と同傾向となり、将来的に厳しい見方を強めていることがわかる。

2. 多チャンネル放送全体の加入者動向では、依然として厳しい見通し

多チャンネル放送の全体的な加入者動向としては、『現状』『1年後』『2年後』いずれも「減少」が過半数を占める結果となった。「増加」が『現状』『1年後』『2年後』と3.5%→2.3%→3.5%と大きな変動は無く、「横ばい」が33.7%→27.9%→27.9%と縮小した分「減少」が拡大しており、前回調査同様に極めて厳しい結果となった。

前回調査（2018年6月）と比較して、『現状』は「増加」が2.4ポイント、「横ばい」が5ポイント拡大、「減少」は7.3ポイント縮小、『1年後』『2年後』も「増加」「横ばい」が拡大し、「減少」が縮小となった。全体として加入者数の減少傾向は下げ止まる一方、「減少」が占める面積は6割を超え依然として厳しい見通しとなっている。

3. 視聴料収入は厳しめとの見方続く

視聴料に関して、『現状』は、「大幅増」が前々回（17年11月調査）はじめて0%となったが今回も同様となった。ただし「増加傾向」は前回の18.4%から18.6%となり低下に歯止めがかかった。「横ばい」は前回の28.7%から23.3%と低下。「減少傾向」は前回の52.9%から57.0%へと増加し、「大幅減」と合わせると58.2%と過半数の回答になった。

『1年後』の予測では、「大幅増」は前回同様0%、「増加傾向」が前回の16.1%から14.0%、「減少傾向」が前回の56.3%（うち「大幅減」1.1%を含む）から48.8%へとどちらも低下したものの「横ばい」が前回の27.6%から36.0%へ大いに増加する回答となった。

『2年後』の予測については、「増加傾向」が前回の18.4%から10.5%へ減少、「横ばい」が前回の26.5%から36.0%へと増加、「減少傾向」が前回の55.1%（うち「大幅減」1.1%含む）から53.5%（うち「大幅減」2.3%）へと微増であり、将来についての予測は現状よりやや厳しめとの見方となっている。

4. 広告収入の将来については現状より上向きと見る事業者が多い

『現状』では、「大幅減」の7.0%と「減少」の29.1%を合わせると36.1%となり、最も多い「横ばい」の37.2%とほぼ同じ数値となる。一方、「大幅増」は1.2%、「増加」は9.3%にとどまり、厳しい見方をする事業者が多い結果となった。

今後に関して、「減少」とみる事業者は、『1年後』34.9%、『2年後』32.6%と『現状』よりやや増えるが、「大幅減」は『1年後』0%、『2年後』1.2%とほぼ無くなるため、二つを合わせた数値の変動は殆どない。「増加」は、『1年後』、『2年後』とも12.8%と上昇していることから、「現状」を最も厳しい状況であるとみる事業者が多い。

なお、「該当事業無」と回答した広告未実施の事業者が『現状』で16.3%存在していることについても留意されたい。

5. 「その他事業収入」では明るい見通し続く期待が

『現状』では「増加」と「横ばい」がいずれも31.4%となり、「減少」の11.6%に大きく差をつけた。「増加」は『2年後』に36.0%と上がる一方、「減少」は『1年後』『2年後』とも11.6%のままで、その他事業収入に関しては、今後も明るい見通しが続くと期待する事業者が多い結果となった。

なお、「該当事業無」と回答した事業者が『現状』で24.4%存在していることについても留意されたい。

調 査 の 概 要 に つ い て

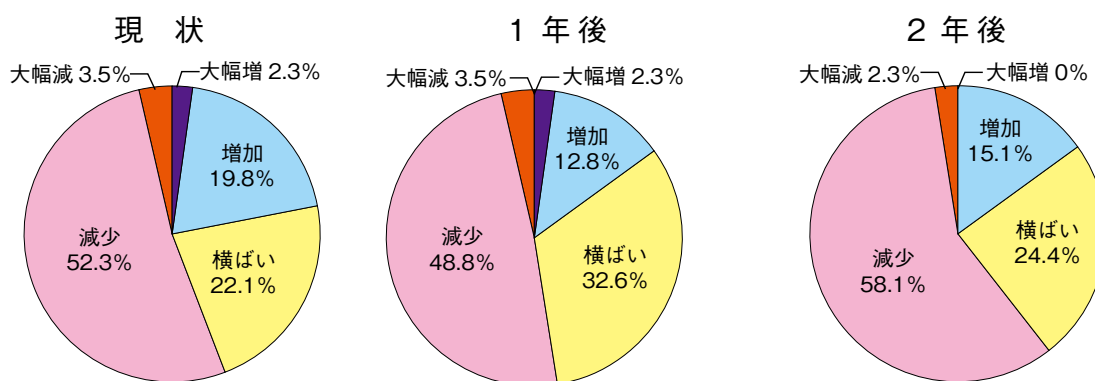
1. 調査時期 2018年11月
2. 調査対象 衛星放送協会正会員社の有料チャンネル（86チャンネル）
3. 調査方法 webによる回答・回収法
4. 回答回収数 86チャンネル
5. 回答回収率 100%

資 料

調 査 結 果 詳 細

1. 自社チャンネルの加入者動向

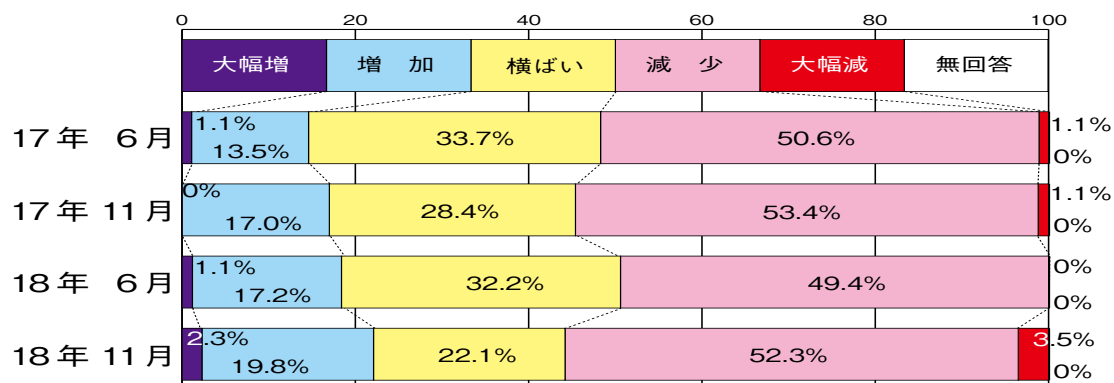
自社チャンネルの全体的な加入者動向について、『現状』、『1年後』、『2年後』いずれも「減少」がもっとも多く、52.3%→48.8%→58.1%と『1年後』はやや回復するが拡大傾向にある。「増加」は『現状』の19.8%がもっと多く、『1年後』12.8%、『2年後』15.1%と徐々に減少の見方となった。全体としては悲観的な見通しが半数以上を占める結果となっている。



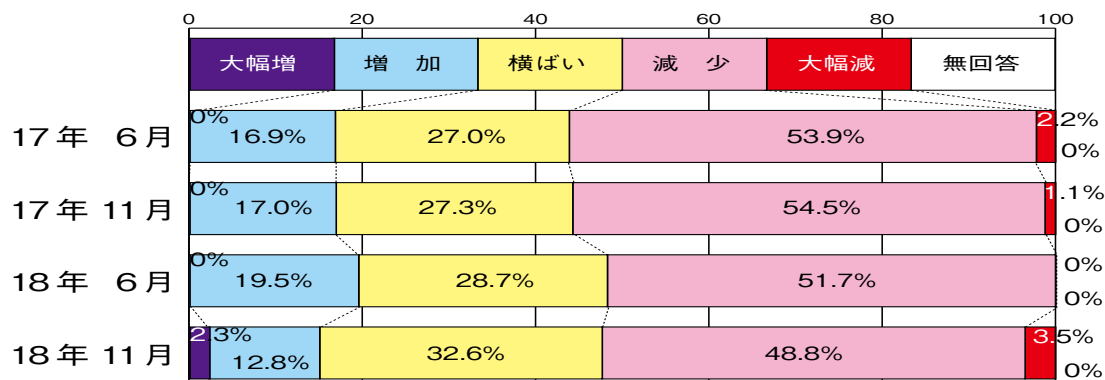
2. 自社チャンネルの加入者動向予測推移

前回調査（2018年6月）と比較して、『現状』については「横ばい」が10.1ポイント縮小、その分「大幅増」「増加」が計3.8ポイント、「減少」「大幅減」が計6.4ポイント拡大し二通りの結果となった。『1年後』は「横ばい」が拡大し、「大幅増」「増加」が計4.4ポイント縮小、「大幅減」「減少」が0.6ポイント拡大。『2年後』についても「大幅増」「増加」が4.4ポイント縮小、「大幅減」「減少」が4.1ポイント拡大と同傾向となり、将来的に厳しい見方を強めていることがわかる。

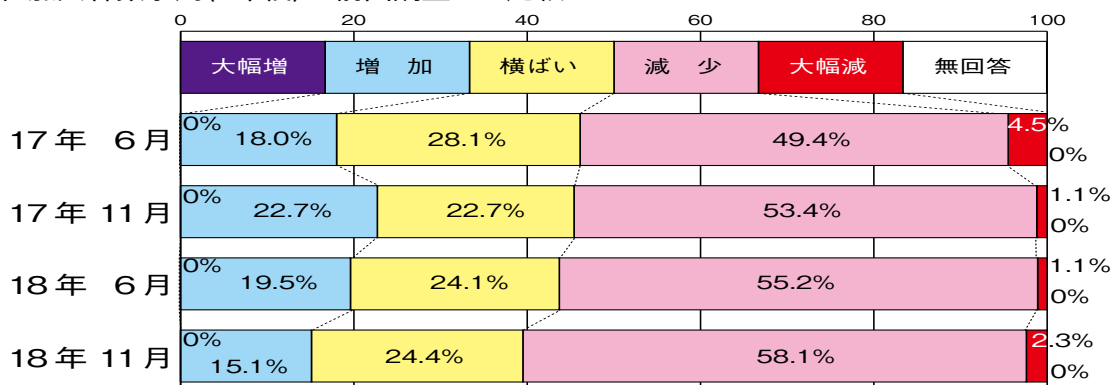
自社加入者数予測(現状)―前回調査との比較



自社加入者数予測(1年後)ー前回調査との比較

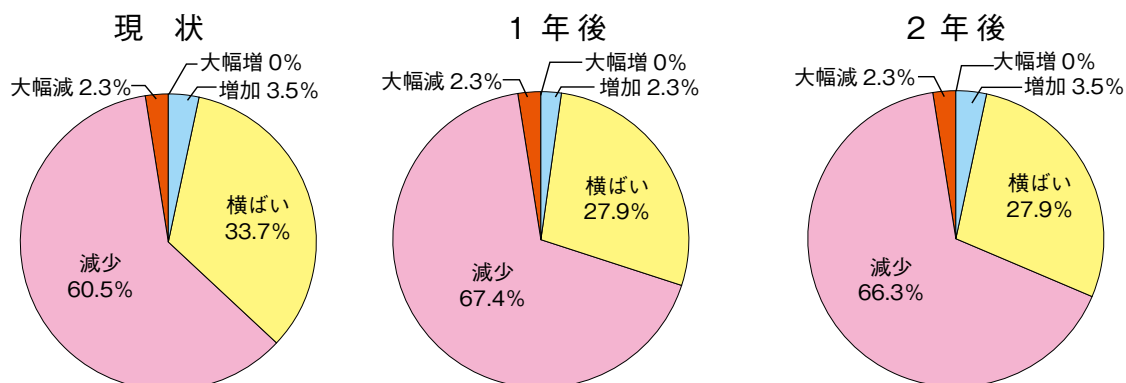


自社加入者数予測(2年後)ー前回調査との比較



3. 多チャンネル放送全体の加入者動向

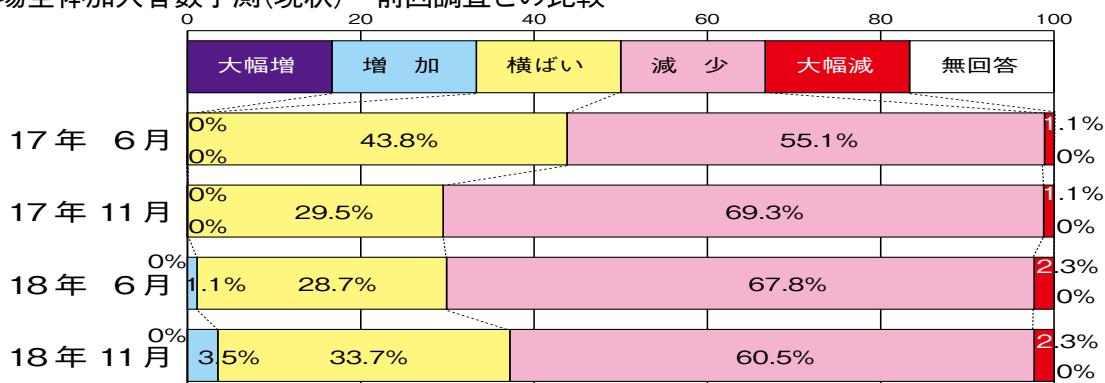
多チャンネル放送の全体的な加入者動向としては、『現状』『1年後』『2年後』いずれも「減少」が過半数を占める結果となった。「増加」が『現状』『1年後』『2年後』と3.5%→2.3%→3.5%と大きな変動は無く、「横ばい」が33.7%→27.9%→27.9%と縮小した分「減少」が拡大しており、前回調査同様に極めて厳しい結果となった。



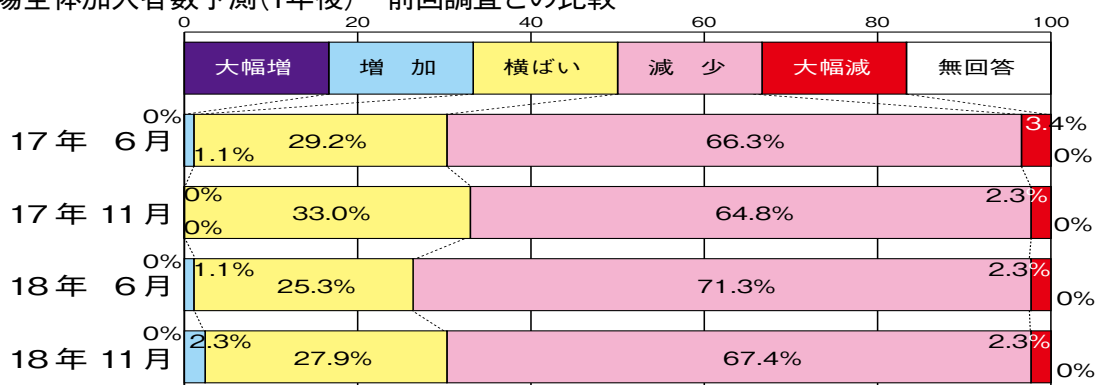
4. 多チャンネル放送全体についての予測推移

前回調査（2018年6月）と比較して、『現状』は「増加」が2.4ポイント、「横ばい」が5ポイント拡大、「減少」は7.3ポイント縮小、『1年後』『2年後』も「増加」「横ばい」が拡大し、「減少」が縮小となった。全体として加入者数の減少傾向は下げ止まる一方、「減少」が占める面積は6割を超え依然として厳しい見通しとなっている。

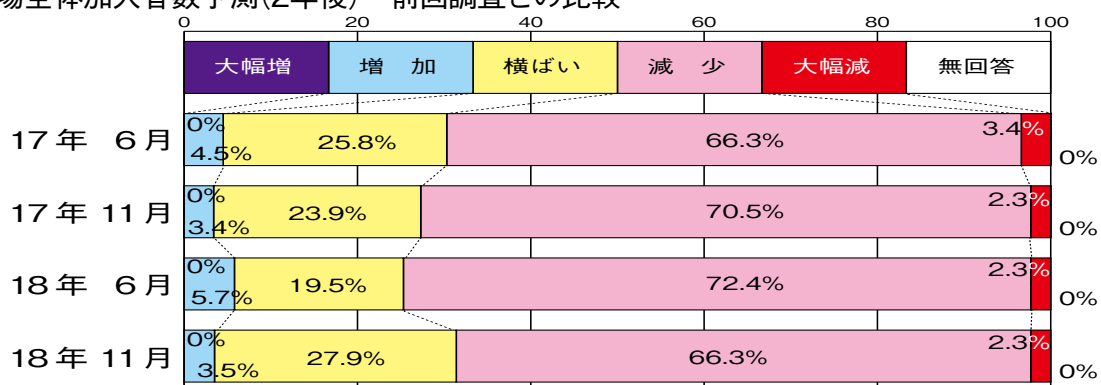
市場全体加入者数予測(現状)ー前回調査との比較



市場全体加入者数予測(1年後)ー前回調査との比較



市場全体加入者数予測(2年後)ー前回調査との比較

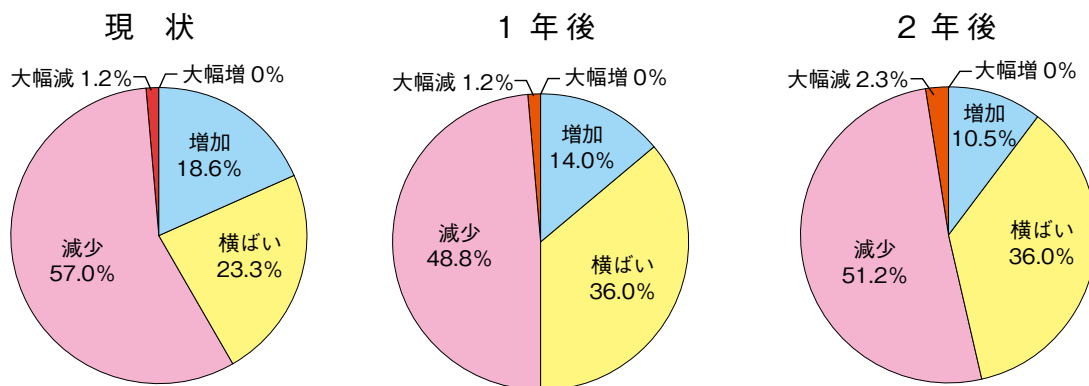


5. 視聴料収入予測

視聴料に関して、『現状』は、「大幅増」が前々回（17年11月調査）はじめて0%となったが今回も同様となった。ただし「増加傾向」は前回の18.4%から18.6%となり低下に歯止めがなかった。「横ばい」は前回の28.7%から23.3%と低下。「減少傾向」は前回の52.9%から57.0%へと増加し、「大幅減」と合わせると58.2%と過半数の回答になった。

『1年後』の予測では、「大幅増」は前回同様0%、「増加傾向」が前回の16.1%から14.0%、「減少傾向」が前回の56.3%（うち「大幅減」1.1%を含む）から48.8%へとどちらも低下したものの「横ばい」が前回の27.6%から36.0%へ大いに増加する回答となった。

『2年後』の予測については、「増加傾向」が前回の18.4%から10.5%へ減少、「横ばい」が前回の26.5%から36.0%へと増加、「減少傾向」が前回の55.1%（うち「大幅減」1.1%含む）から53.5%（うち「大幅減」2.3%）へと微増であり、将来についての予測は現状よりやや厳しめとの見方となっている。



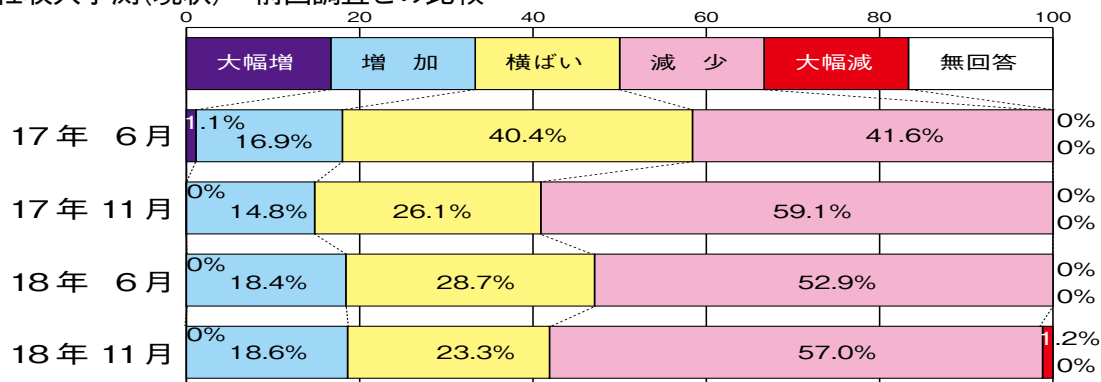
6. 視聴料収入・全体の推移

『現状』について、①17年6月調査②17年11月調査③18年6月の前回と比較すると、「増加傾向」と答えた事業者は過去3回の調査水準より増えた（18.0%→14.8%→18.4%→18.6%）。「減少傾向」との回答は前回一度落ち着きを見せたものの、今回再び増加となった。（41.6%→59.1%→52.9%→58.2%）。

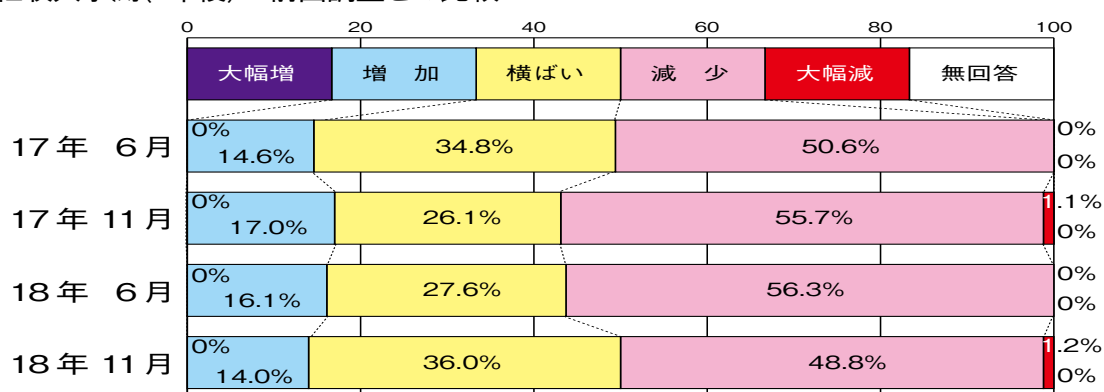
『1年後』の予測では、「増加傾向」という回答は過去3回と比べても一番低い回答となり（14.6%→17.0%→16.1%→14.0%）、増え続けてきた「減少傾向」との回答も過去一番の低下（50.6%→56.8%→56.3%→50.0%）傾向がみられる。

『2年後』については、「増加傾向」という回答も前回より大幅減少（18.0%→23.9%→18.4%→10.8%）、一方で「減少傾向」との回答は微減した。（51.7%→54.6%→55.1%→53.5%）。

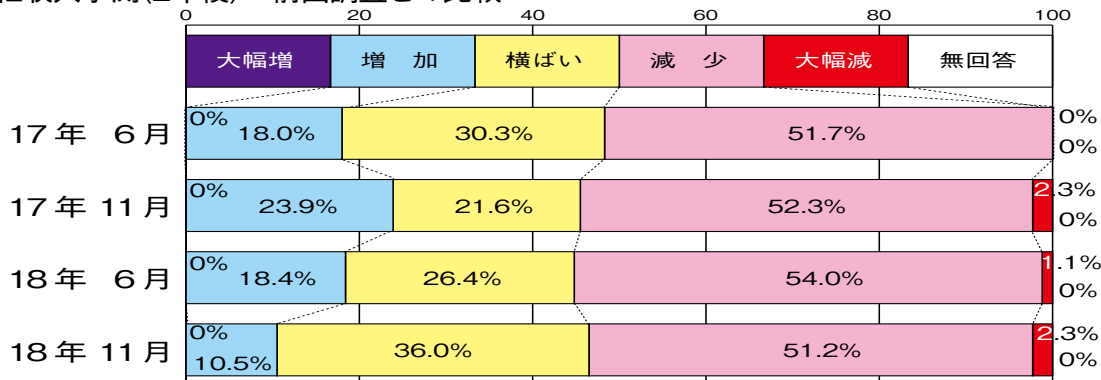
自社収入予測(現状)―前回調査との比較



自社収入予測(1年後)―前回調査との比較



自社収入予測(2年後)―前回調査との比較

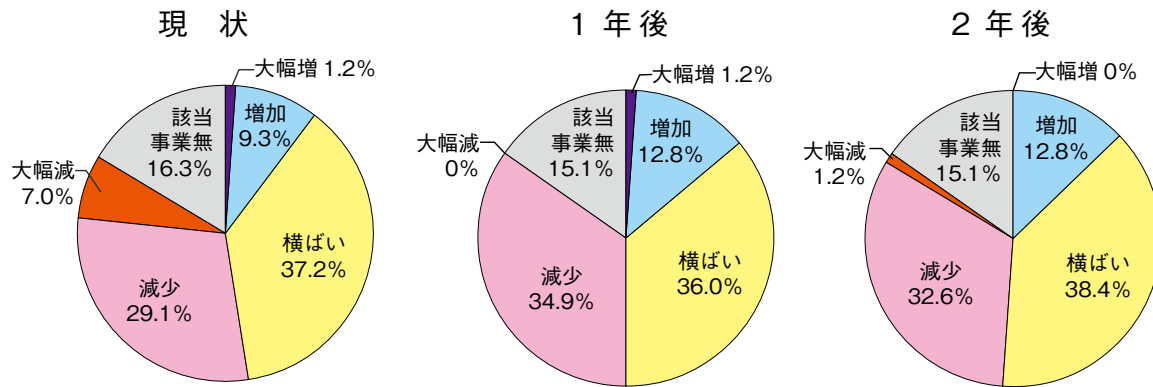


7. 広告収入の動向

『現状』では、「大幅減」の7.0%と「減少」の29.1%を合わせると36.1%となり、最も多い「横ばい」の37.2%とほぼ同じ数値となる。一方、「大幅増」は1.2%、「増加」は9.3%にとどまり、厳しい見方をする事業者が多い結果となった。

今後に関して、「減少」とみる事業者は、『1年後』34.9%、『2年後』32.6%と『現状』よりやや増えるが、「大幅減」は『1年後』0%、『2年後』1.2%とほぼ無くなるため、二つを合わせた数値の変動は殆どない。「増加」は、『1年後』、『2年後』とも12.8%と上昇していることから、「現状」を最も厳しい状況であるとみる事業者が多い。

なお、「該当事業無」と回答した広告未実施の事業者が『現状』で16.3%存在していることについても留意されたい。

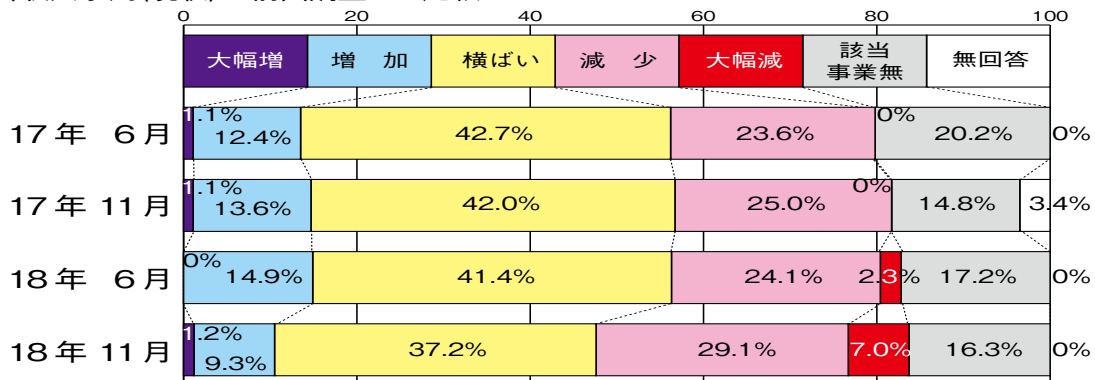


8. 広告収入予測の推移

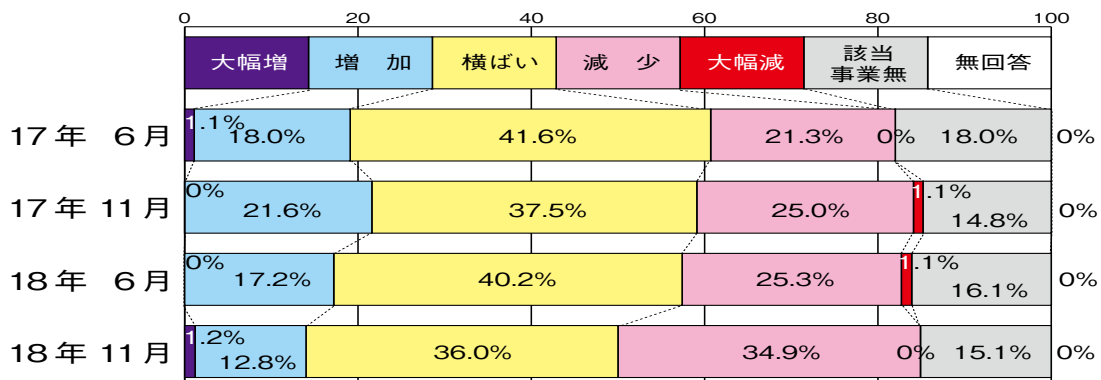
『現状』については、「増加」、「横ばい」と回答した事業者が前回より下げた一方、「大幅減」「減少」の合計は36.1%と前回からプラス10ポイント近く大幅に増えた。特に、これまで殆ど回答がなかった「大幅減」と回答した事業者が7.0%もあったことは留意されたい。

今後に関して、前回より「増加」が『1年後』マイナス4.4ポイント、『2年後』マイナス6.7ポイントと大きく下げる一方、「減少」が『1年後』プラス9.6ポイント、『2年後』プラス8.4ポイントと大きく上昇しており、将来についても、悲観的な味方をする事業者が次第に増加している。

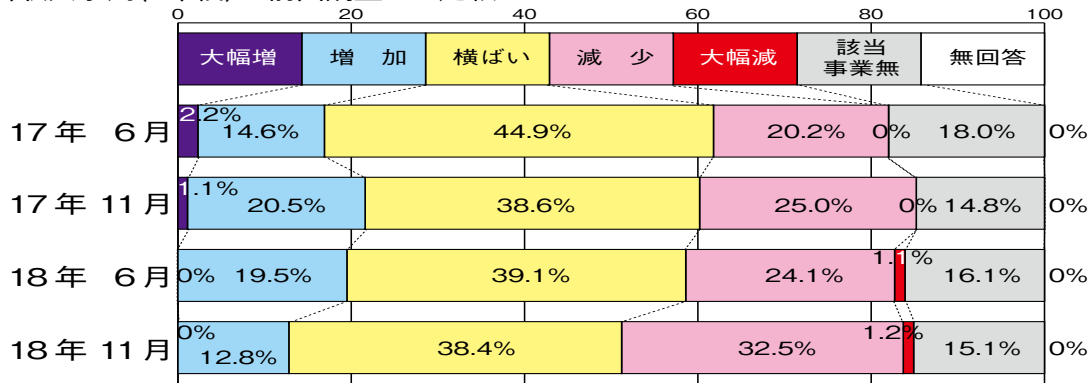
広告収入予測(現状)―前回調査との比較



広告収入予測(1年後)―前回調査との比較



広告収入予測(2年後)―前回調査との比較

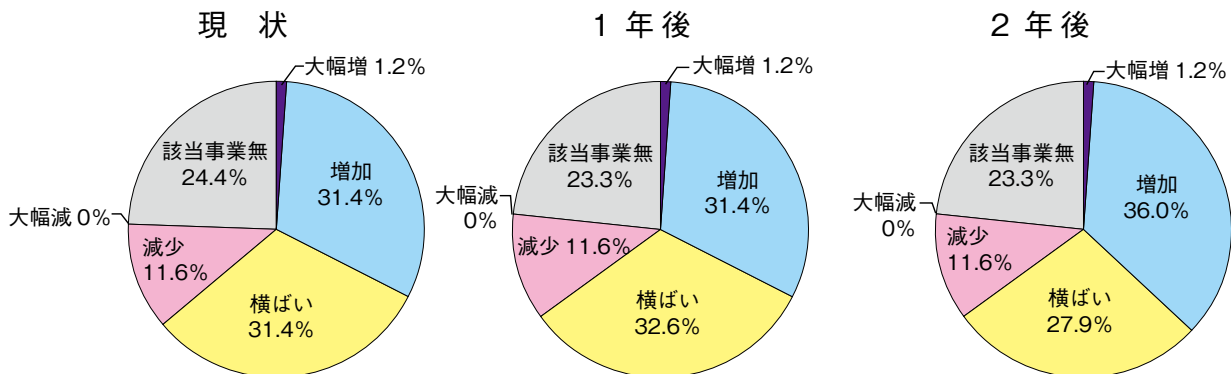


9. その他事業収入予測

『現状』では「増加」と「横ばい」がいずれも31.4%となり、「減少」の11.6%に大きく差をつけた。

「増加」は『2年後』に36.0%と上がる一方、「減少」は『1年後』『2年後』とも11.6%のままで、その他事業収入に関しては、今後も明るい見通しが続くと期待する事業者が多い結果となった。

なお、「該当事業無」と回答した事業者が『現状』で24.4%存在していることについても留意されたい。

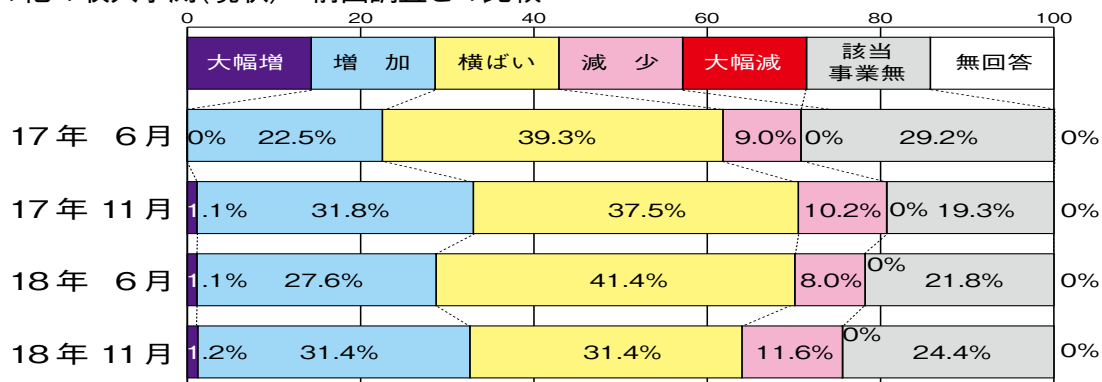


10. その他事業収入予測の推移

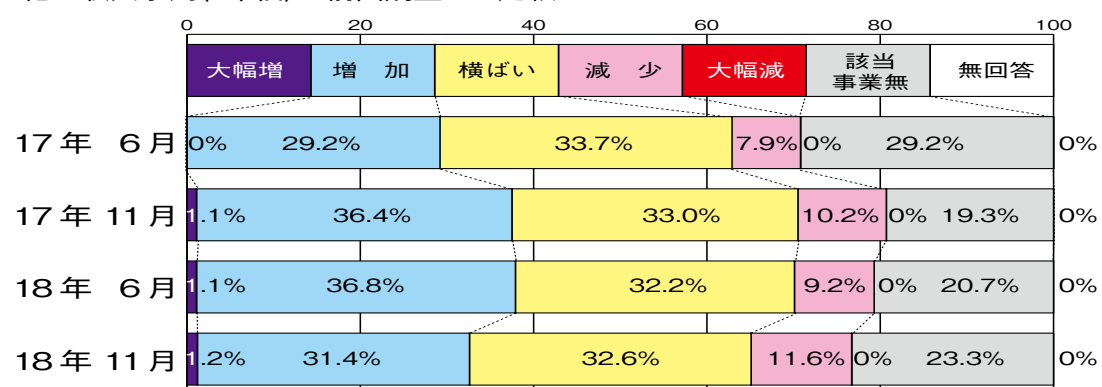
『現状』では、「横ばい」と見る事業者は、31.4%と前回より10ポイント下がった。一方、「増加」はプラス3.8ポイント、「減少」はプラス3.6ポイントといずれも上がっており、『現状』の見方が前回より分かれる結果となった。

『1年後』『2年後』では、「増加」がそれぞれ5.4ポイント、4.2ポイント下げる一方、「減少」は、『1年後』『2年後』とも2.4ポイント上げており、「増加」と答える事業者は引き続き多いものの、将来へ厳しい見方をする事業者も増えた結果となった。

その他の収入予測(現状)―前回調査との比較



その他の収入予測(1年後)―前回調査との比較



その他の収入予測(2年後)―前回調査との比較

